

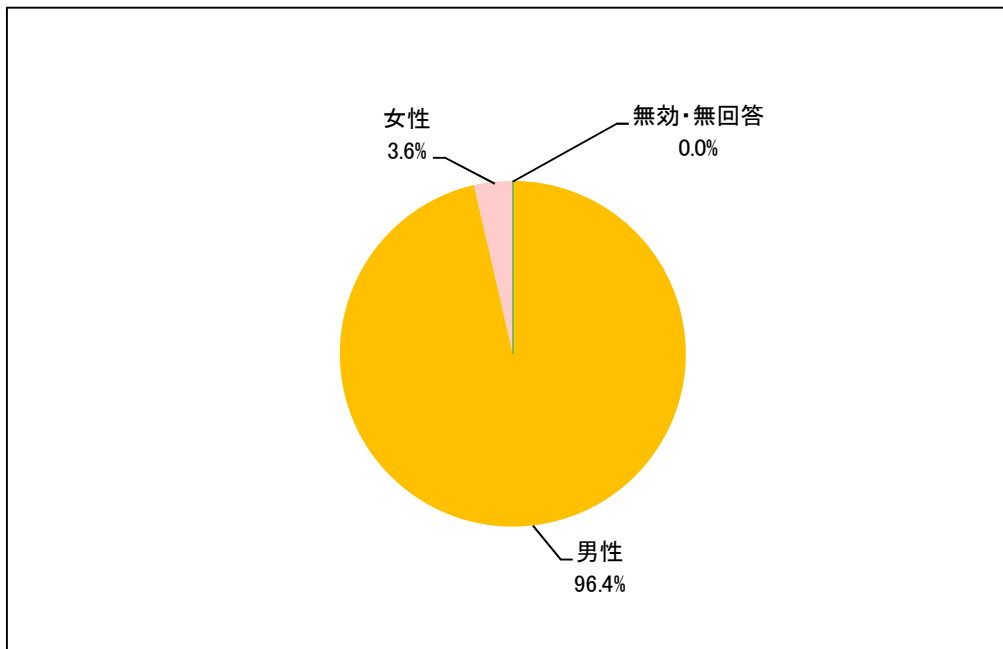
安城市がめざす将来のまちづくりに関するアンケート調査票

□ 調査概要

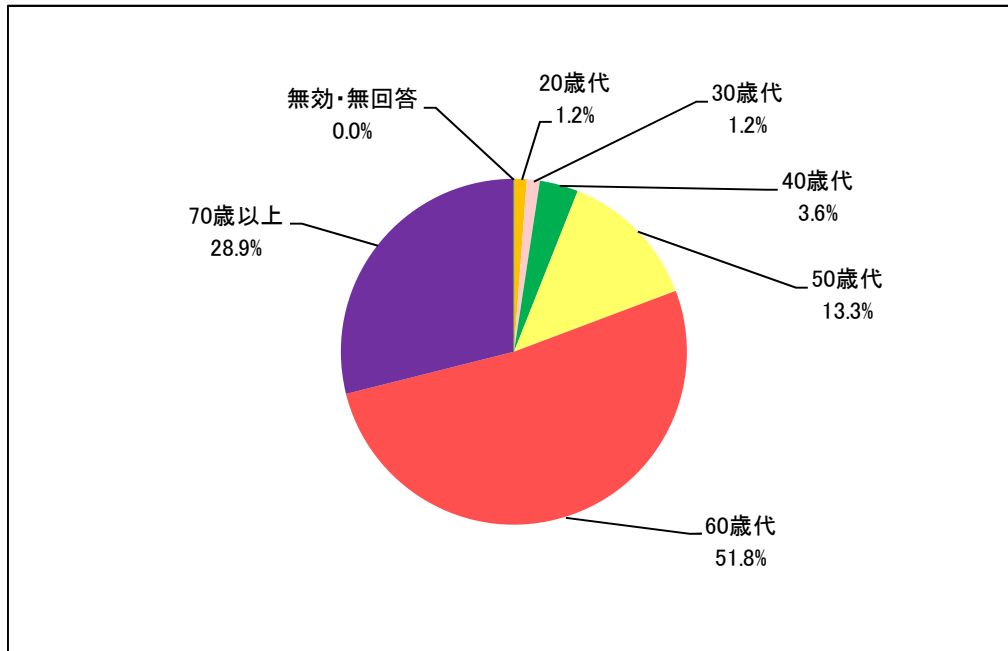
調査対象	市議会議員、町内会長、十日会
調査方法	郵送による発送及び回収
回収数	83 通

□ 回答者の属性について

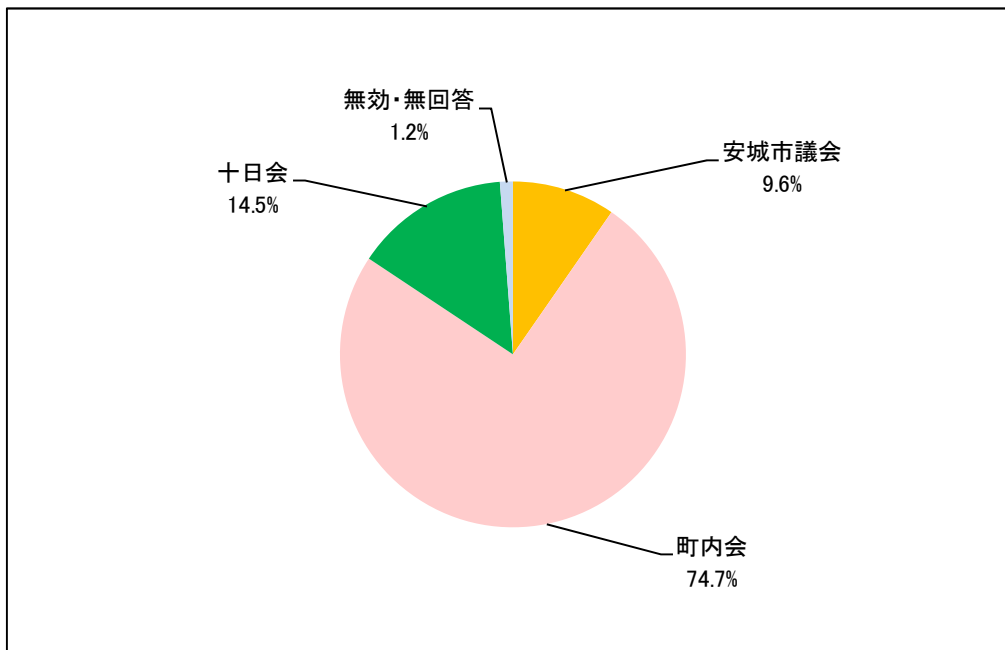
問 1 性別



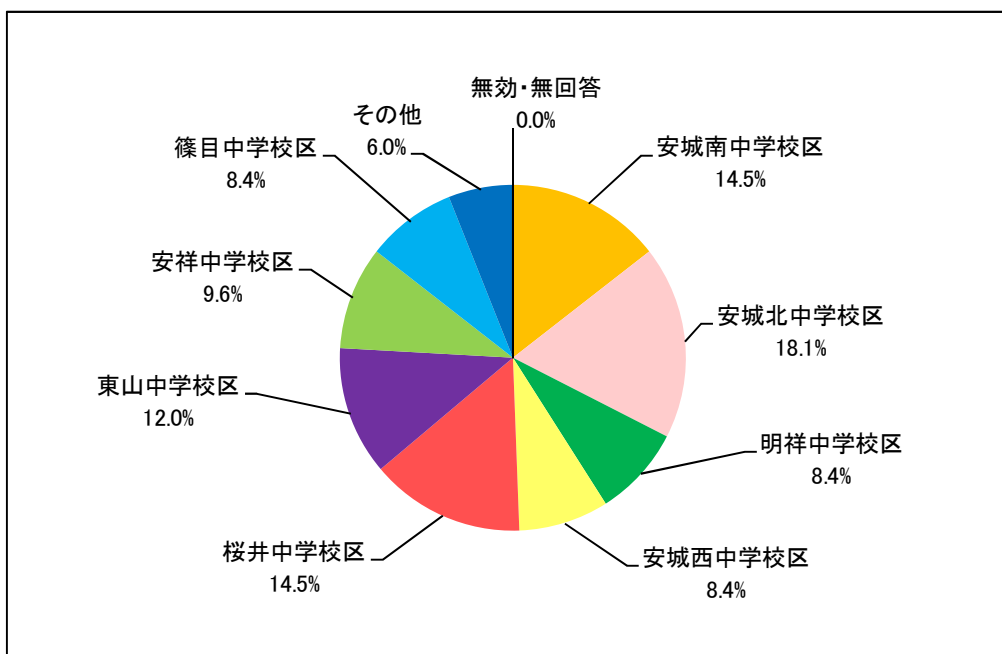
問2 年齢



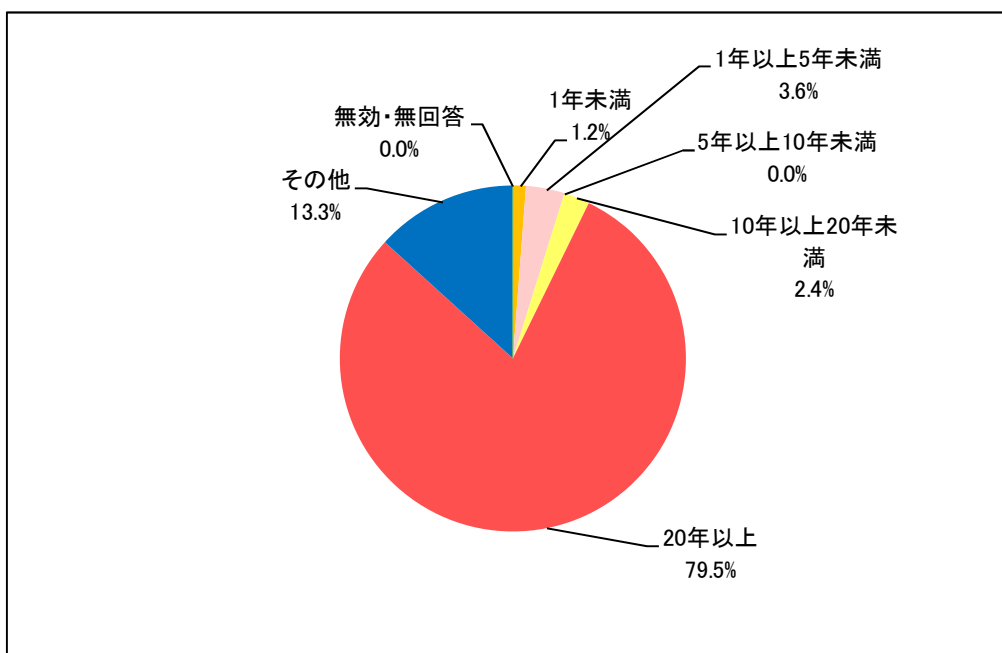
問3 所属



問 4 居住地区

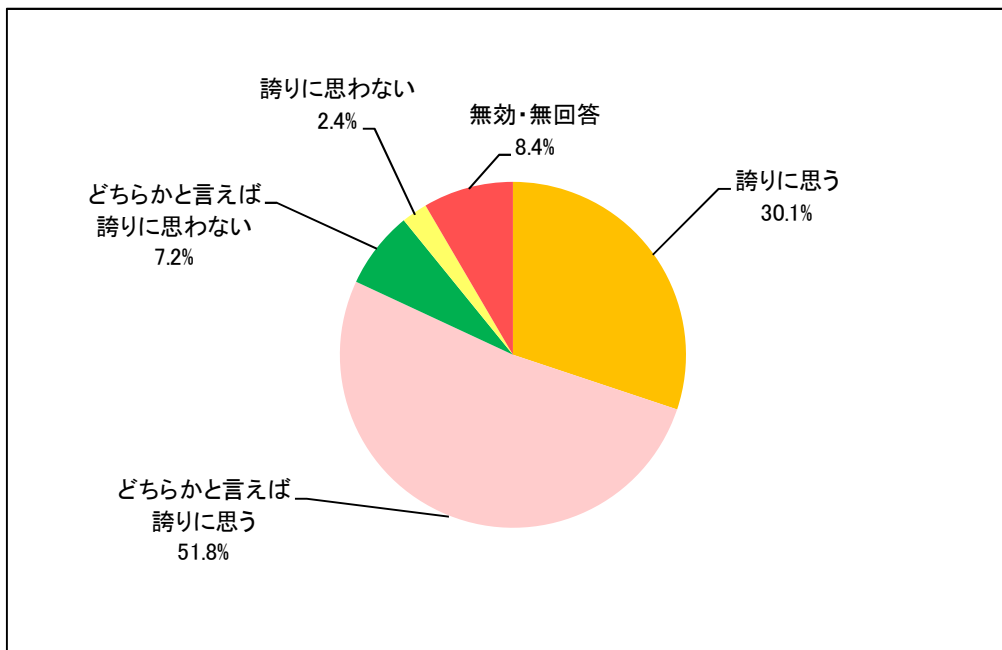


問 5 安城市での居住年数（通算）

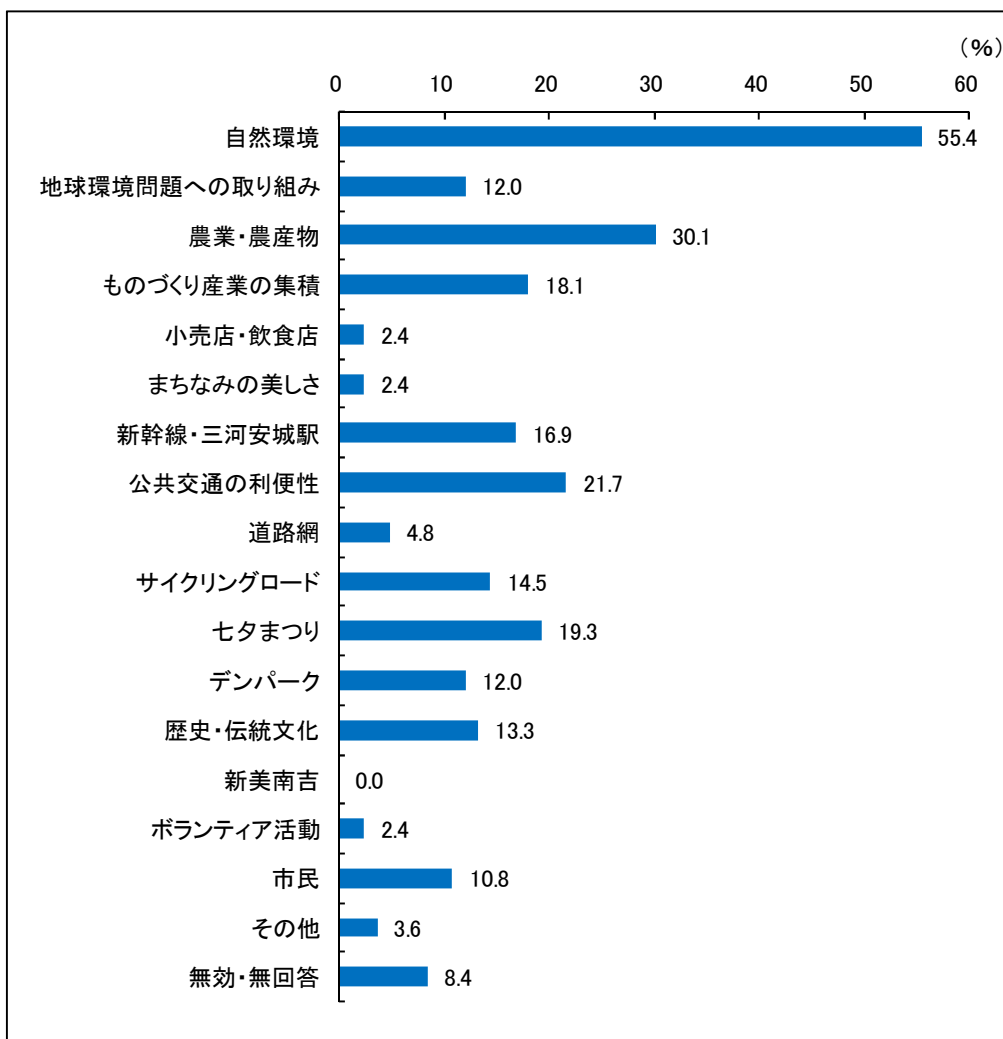


□安城市に対する誇りについて

問6 あなたは安城市に住んでいることを誇りに思いますか。



問7 あなたが自慢できる安城市の魅力は何ですか。
以下の選択肢から3つまで選んで番号を記入し、その右側に、あなたが自慢できることを具体的に記入してください。

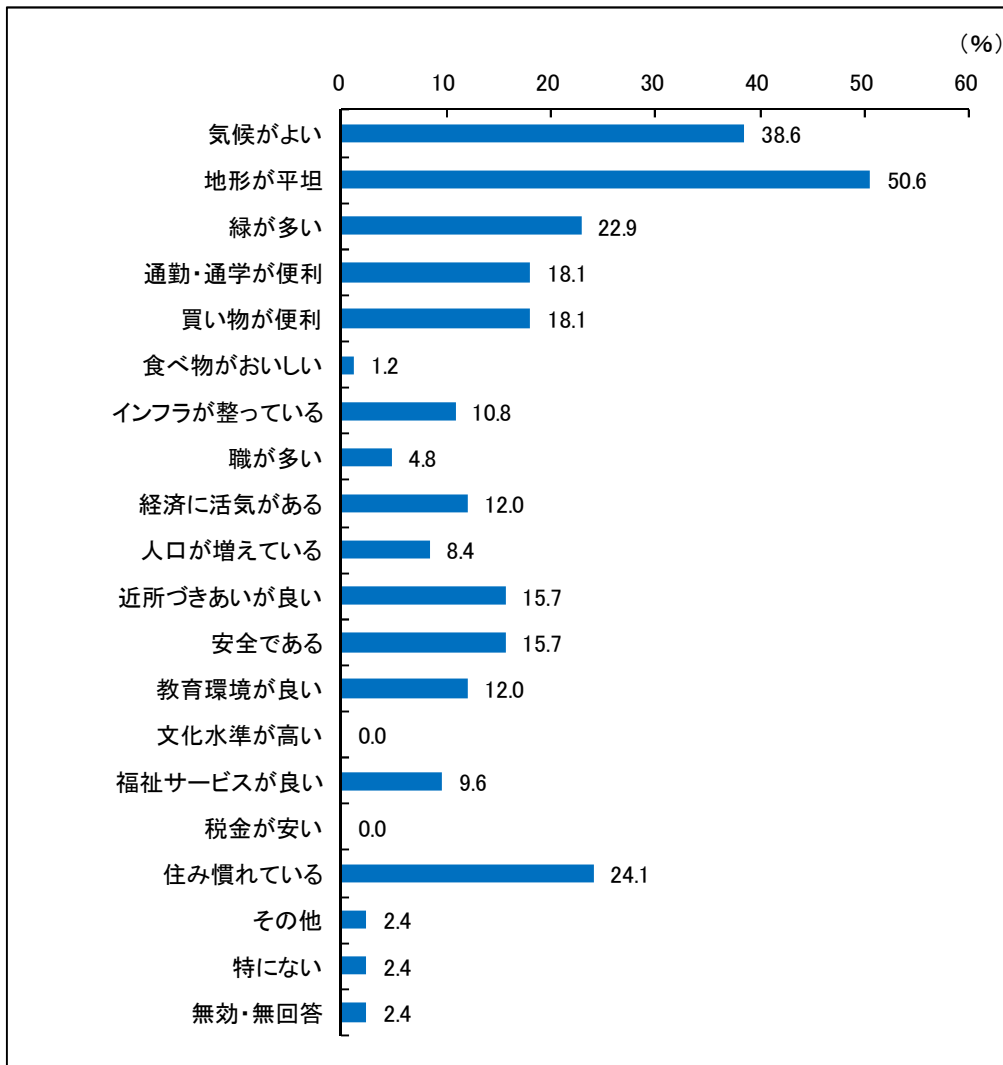


選択肢	あなたが自慢できる具体的な内容（主な回答）
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害がおきる可能性が非常に少ない。海からは距離がある。中小河川も少ない等。 ・ 山がないため自然災害もなく安心して暮らせる。 ・ 鉄道を核とした3つの中心市街地と、その周辺を住居系と工業系の市街化区域が形成され、その外周に、農村集落毎が農業振興地域に取り囲んだ市街化調整区域を形成しており、お互いに高度で調和の取れた土地利用がなされている。 ・ 三河安城駅近くの大都会の風景のすぐ近くには、のどかな田園地帯が広がり、近代都市と田舎が混在する、ほっとする町である。 ・ 岡崎平野の中央に位置し、東南部は大河矢作川に接し、周囲の山々を遠望でき、多くの田園が残っており、落ち着いた雰囲気がある。 ・ 都市計画上の区域の秩序が守られ乱開発がない ・ 農業・工業・商業のバランスがとれている。 ・ 子供を育てる環境が良いと思います。公園も近くにあり緑も多いです ・ 四季のメリハリがあり、平坦な地形での微高地、微低地の平地林や農地など生活の場として空気がよい。 ・ 鎮守の森や矢作川など昔からの自然が守られている ・ 夜間虫の声がきこえる事 ・ 都築弥厚発案による明治用水により豊かな田園風景、所々に昔の原野もあり、東海松並木が残り、田畑も多くあり自然豊か ・ 温暖な気候と日本の真中という位置であり非常に暮らしやすい。
地球環境問題への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境首都を市民も自覚している ・ 環境首都を旨としごみ減量化への計画的取組とこれに対する市長の実行力は高く評価できる。 ・ 他の地域よりもゴミの問題とか意識は高いと思います
農業・農産物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先覚者の努力により、多目的経営及び圃場の基盤整備等農業の先進都市として、また、名古屋圏の近郊都市として発展、米・野菜を始め、キュウリ・梨・イチジク等特産品も多く、農作物の流通・生産性も高く、現在に引き継がれている。 ・ 担い手制度をいち早く定着させ、大規模営農に取り組んでいるイチジク・梨等ブランドとして全国にアピールできる。 ・ 明治用水のおかげで、農業するのに非常にやりやすく市場にも恵まれている。 ・ 集落営農が確立されており耕作放棄地が少ない ・ たくさんの農作物があるところ。イチジクおいしくて自慢です ・ 農作物が豊富でまた入りやすい。スーパーマーケットにあり、JAの産直にもあり、買うのに困らない。 ・ 安城で生産している米はうまい。JA直産の野菜もいろいろあり新鮮でおいしい
ものづくり産業の集積	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車関連企業などをはじめ、日本のものづくりをリードしている。 ・ トヨタ系部品会社が多くあり、市の財政を潤している。ものづくりの堅実な気風がある

	<ul style="list-style-type: none"> 日本の自動車産業を支える中核都市の一つであり市内業者は優れた技術力を有している 地元到大企業関連事業所も多く、雇用先も多いので町に活力を生みだしている 農地と工場用地のバランスがとれており、職・住接近に近い雇用が確保されている。自動車産業の集積がみられる。
小売店・飲食店	<ul style="list-style-type: none"> いくつかの大型店舗があり、駐車場も充実しているので買物がしやすい 近くに店、店舗も有り利用するのに便利。シャッターを降している店も多くなっているのが少し残念と思う。
まちなみの美しさ	<ul style="list-style-type: none"> 南吉モニュメント等、ウォールペイントなど市をあげての取組が良い 安城は平野であり、田園風景が美しい
新幹線・三河安城駅	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線駅が在るのは大きい。在来線に於ても、「安城」「刈谷」の次の停車駅は「金山」であり、都市部に対してアピールポイントだと思います。 新幹線の駅は県内で3市しかない。もっと魅力のある駅にしていくとよいと思う。 東京まで新幹線を利用すると2時間で行くことができる ビジネス面・旅行等で非常に便利である リニア新幹線の開通は三河安城から東海道新幹線利用で品川まで約1時間で行けること。今後ますます三河安城駅の利用価値が上がる。
公共交通の利便性	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線、名鉄、JRと全ての選択ができる JRと名鉄が市内を走っており、公共交通機関を利用した移動が行いやすい あんくるバスほど細かく回るバスはなかなか他市では見られない。改善を求める声にはこたえていく必要があるが、高い水準にある事は間違いない。
道路網	<ul style="list-style-type: none"> 国1と23号が通過する安城市、南北線の強化をして車で便利な地域とする事で、多くの人が集まってくる。 道路が比較的広く、見通しがよいので、自動車の運転がしやすい
サイクリングロード	<ul style="list-style-type: none"> きれいに整備されて、自転車・散歩・マラソンする人それぞれが楽しんでいきます。桜並木もあり、景色も楽しむことができ憩いの場になる サイクリングロード、ワーキングロード、競技場が完備しており適度な運動が楽しめる 南北を結ぶ道は非常に魅力。東西は大東・住吉はあるもののまだ不十分、今後期待。 近隣市にはない充実したサイクリングロードは市民の健康促進に大変有意義と考えている。
七夕まつり	<ul style="list-style-type: none"> 60回以上続いている。市民参加型の祭りに発展 商店街の人々の努力には敬意を払います。毎年毎年準備して盛大にまつりができるようにしておられる。市の一大イベントであり、アピールできます 毎年、たのしみにしており、日本3大祭(七夕)に入っていること 回を重ねる毎に集客増加のイベントに成長 毎年120万人のにぎわいがあり、時代と共に七夕かざりなど変遷はあるものの市民が踊りやボランティア、願いごとなどで参加して下さっている

デンパーク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市外から来園者は多く四季折々の花は楽しみである。年間パスポートはお得と思う。 ・ 維持する費用はかかるが四季おりおりの花、森林の紅葉やイベントが年々華やかになっている ・ 植栽が充実しており、十分な広さを確保した公園が身近にあることは素晴らしい。 ・ 産業文化のテーマパークとしての知名度が高い。
歴史・伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寺社の伝統行事、冠婚葬祭、建築物など風土に根ざした文化が残っている ・ 市内には 220 を超える文化財がある。本證寺の国指定史跡に期待する。三河万才、桜井棒の手、各地域の囃子、神楽は大切にしたい。 ・ 人がくらししてきた証しを大切に、次世代につなげる意識、活動のレベルは高い ・ 派手な城郭などはないものの、市内には歴史遺産も多く、明治用水の恩恵もあり、飛躍的發展を遂げたことなどは独特である。 ・ 町内に古墳などの史跡が多くあり、自分の住む土地にロマンを感じ誇らしい。町内には伝統的な祭り囃子があり、保存伝承している。
ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防犯組織の活動が活発である ・ 町内会組織がしっかりできていて安心である。小学校の見守隊もうまく機能している。
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三河地方特有な温厚さがあり、人を許す寛容さがあると思う ・ 新旧のかべがない。排他性がない ・ 市民協働体でボランティア精神が旺盛である ・ 近所づきあいが私の回りでは良い ・ 常に公共施設が埋まる等、活動が活発。市を動かす主体であり、更に盛人になることを期待
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大都市（名古屋）にも近く、住みやすい（交通の便、車での買物が容易。ゴルフ場も 1H 以内にある）所である ・ 安城市の財政

問 8 あなたが安城市を住みやすいと思うところは何ですか。
 以下の選択肢から 3 つまで選んで番号を記入し、その右側に、あなたが住みやすいと思うことを具体的に記入してください。



選択肢	あなたが住みやすいと思う具体的な内容
気候がよい	<ul style="list-style-type: none"> 冬は雪がないし、夏は台風も影響はほとんどない。山くずれ、津波の心配もなく、良い所である。 四季の変化が感じられる穏やかな気候 当地は、伊勢湾台風の被害以来大きな災害を受けていない。気候温暖な土地と思っている。
地形が平坦	<ul style="list-style-type: none"> 平坦であることにより自然災害が少ない。一步出れば田園風景があり心が和む 田園が広がりとにかく広く感じる。のどか 山や丘がなく風景には物足りないが、移動するには平坦で都合がよい 坂がなく、高齢者にとってはよい 地形が平坦で自然環境の中をサイクリングできるモデル地域で人を集める企画を強く進めると良い

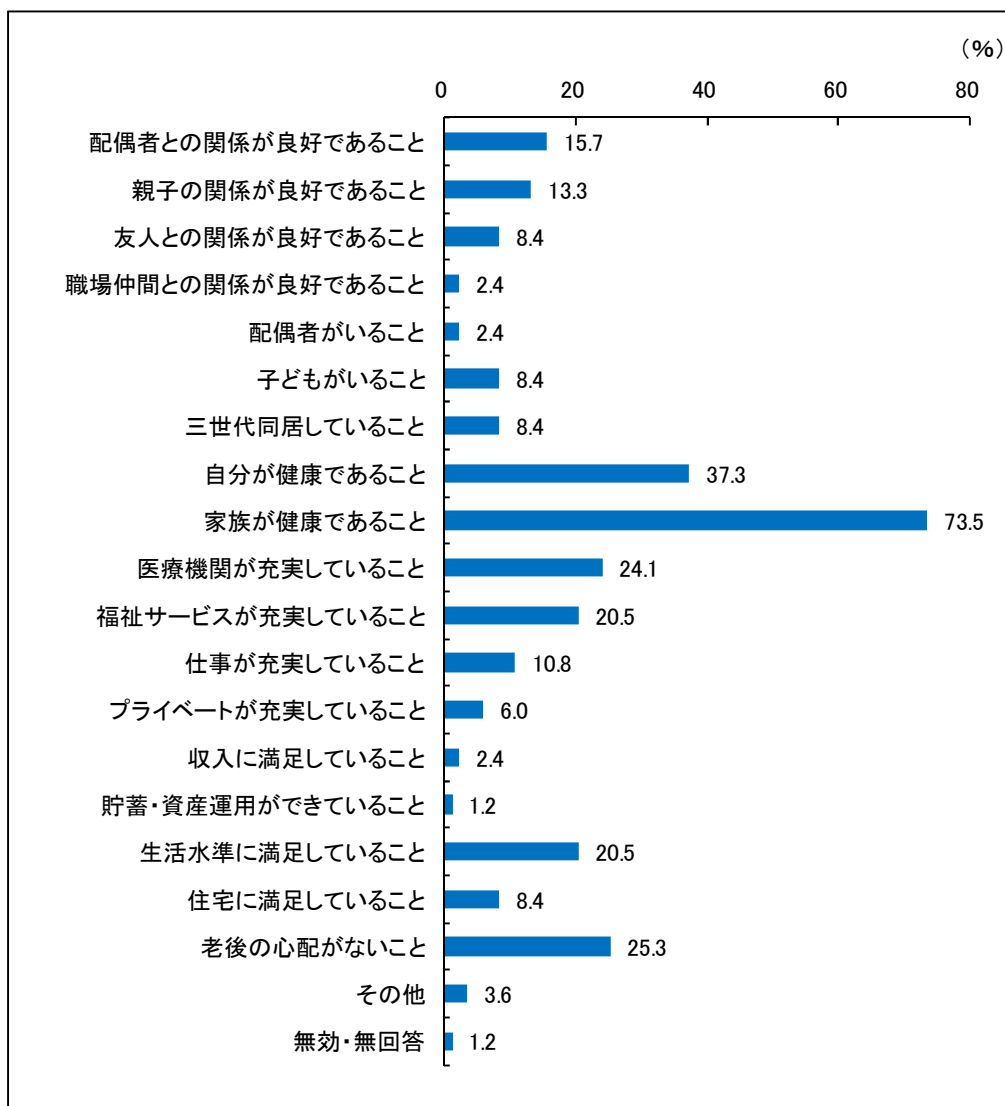
緑が多い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町中で緑が多く、高令者にとって大変住みよく思っています。 ・ 田園風景は気持ちを安定させる ・ 田畑が整備され空気もきれいである。自然を守ろうとする市民の活動も多くある ・ 公園、道路脇の緑はいいと思う。もう少し沿道の緑があってもいいかな。公園の木の手入れがよいと思う。 ・ 農地が多いこと、鎮守の森が各集落にあること、住居の生垣も多いこと
通勤・通学が便利	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道が 2 本通っていて、JR 線と私鉄本線が通っていて、新幹線まで停車し、空港へのアクセスも良く、都市部、ひいては東京や大阪へもアクセスが便利な行政エリアはなかなか無い。また、そういったエリアでサラリーマンが不動産を取得できる所となると、安城は 4000 万円前後で不動産を取得できるので稀少だと思います。 ・ 名古屋まで 20 分ぐらいと、非常に便利さを感じている。 ・ JR・名鉄があり岐阜市・津市・浜松市ぐらいまでかよえるところです ・ 市内に鉄道の駅が多くある ・ 近くに大企業があり通勤が楽である
買い物が便利	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型スーパーが多く有り、また駐車場も広く楽に買い物ができる ・ 到るところにスーパー・コンビニ・ドラッグストアがあり、どこで買ったらいいか迷うほどです。すぐに歩いていけるところにあることはよい ・ スーパーマーケット等の店舗が市内に点在しており、地域ごとに必要な買物を済ませることができる。 ・ 桜井駅前に大型店が出店し便利になった。
食べ物がおいしい	<ul style="list-style-type: none"> ・ くだもの（なし、いちじく）がおいしく、いろいろな野菜も栽培できる
インフラが整っている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通網が整備され、遠方、近隣市への接続が良い ・ 公共施設が充実している。他市で議論されている様な、将来的な縮小には不安も感じる。
職が多い	<ul style="list-style-type: none"> ・ トヨタ関連企業が多い為仕事には恵まれている。名古屋までの通勤圏内である。
経済に活気がある	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本社企業始めトヨタ関連企業が多く安定経営なされている。経済が明るければ生活に潤いと活力が沸き人口増加と購買意欲が高まり、ゆとりが生まれる。 ・ 自動車関係を中心に仕事が多くあり、収入も比較的高い。消費も堅調 ・ 地元経済の好況に支えられ雇用が安定している ・ 農業、トヨタ関連の企業、大型店舗などの商業と経済は安定していると感じる
人口が増えている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域によっては高齢化が進んでいる所もありますが、若い人も流入しておりバランスがまだ良い ・ 町内も今年に入って 40 戸増している。反面、町内活動に変化が生じている ・ 若い世代の夫婦が一戸建てを建てて移り住んで来ている
近所づきあいが良い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会や文化祭など諸行事が行われており参加しやすい ・ 田舎では三世代家族も多く、近隣の助け合いの気風が残っている ・ まだまだ田舎で近所づきあいは良い。要援護者の把握も、アパートを除けば容

	<p>易である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いわゆる城下町ではないので、新しい住民も入り易いのでは。 ・ 近年人口増加に伴い、市外からの転入者が増えているものの、近所づきあいはまだまだ良い。
安全である	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな事件、災害もなく安心して暮せる。 ・ 治安が他市に比べ良い。警察、自治体住民の一体感が強い。 ・ 犯罪率が低い
教育環境が良い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の都市では待機児童の問題は深刻ですが耳にする限りでは恵まれていると思う ・ 保育園から高等学校まで、たくさんあること。また風俗関係の店舗が地域差別化されていること。 ・ こども見守り隊や図書ボランティア、熱心な先生、今のこどもは地域や先生に育てられている。 ・ 少人数学級、学童保育、特別支援学級、療育、ボランティアの方の参加も多いなど充実していると感じる。教師の研修も活発であること ・ 公民館活動が活発で習い事がしやすい ・ 高齢者教室や市民大学等
福祉サービスが良い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に幼児と老人関係が他市より前向であること。 ・ 高令者の利用出来る施設も充実していると思います。介護面もいろいろな角度から考えられている ・ 地域の細かな手が行きわたった福祉ができています（ボランティアの活動による支えも多分にある点も良い） ・ あんくるバスの路線拡大、高齢者の無料化、障害者支援も充実している。
住み慣れている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生まれて現在までおかげがのこっている ・ 地域住民の協力できれいな町づくりができています ・ 先祖代々住んでいるおかげで、町内のことはよくわかり人々と交流するのに違和感がない
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静かな町

□生活の豊かさと幸せを実感できるまちのイメージについて

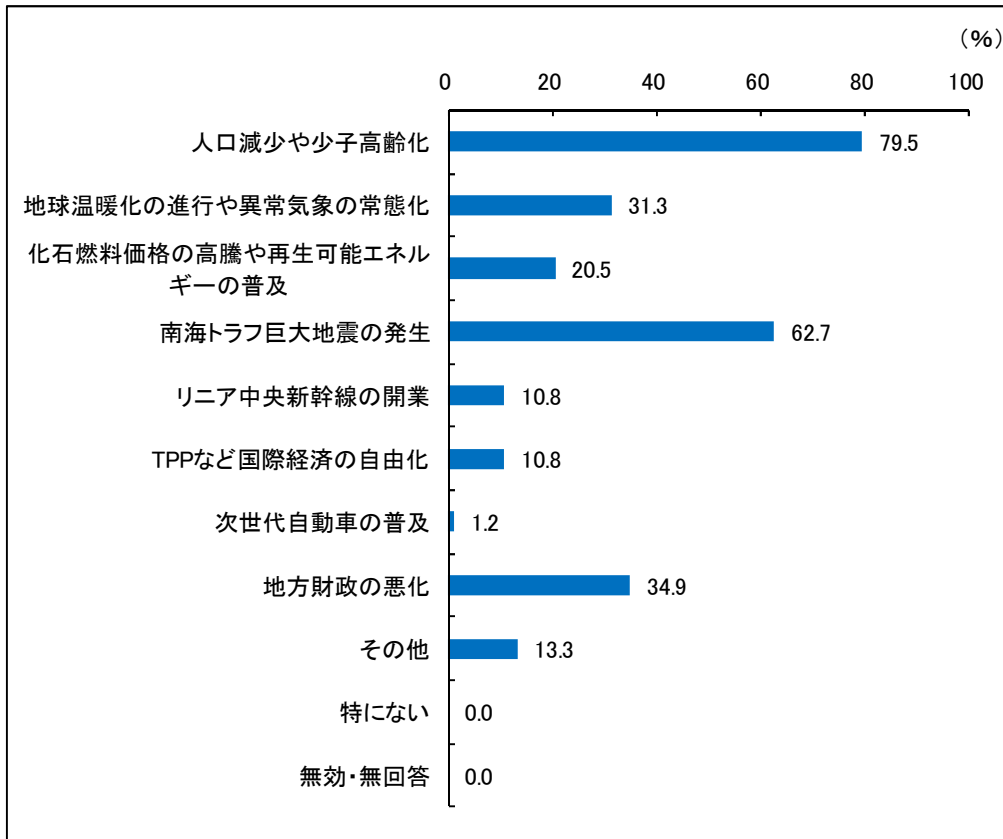
問9 安城市では、将来のまちづくりにおいて、生活の豊かさと幸せを実感できるまちの実現が重要と考えています。

あなたにとって、「生活の豊かさ」や「幸せを実感する」ために重要なことは何ですか。以下の選択肢から3つまで選んでください。

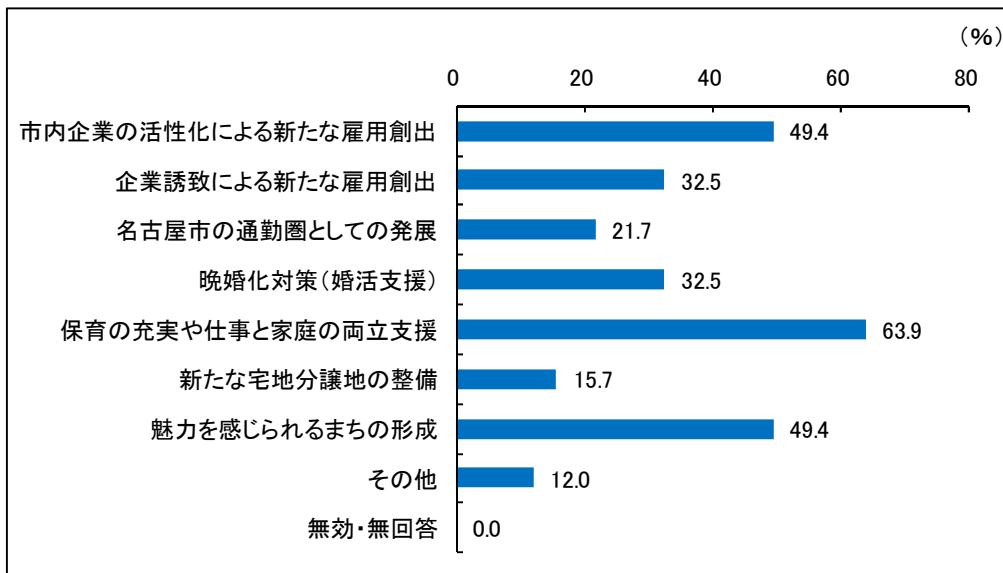


□ 将来のまちづくりのあり方について

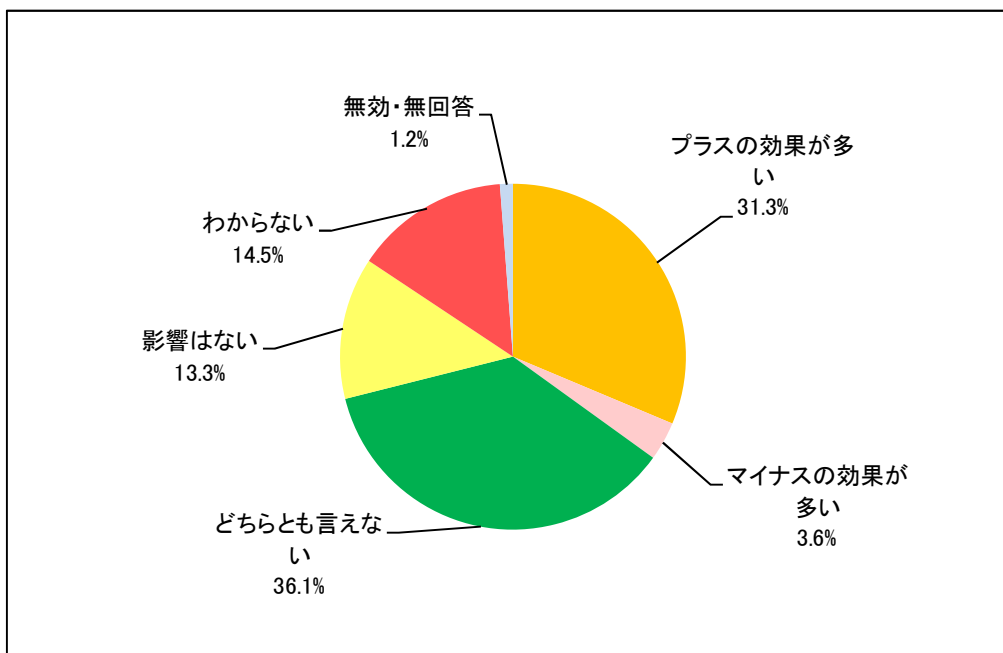
問 10 安城市の将来のまちづくりや市民生活を考えるときに、重点的な対応が必要な課題は何であると思いますか。以下の選択肢から3つまで選んでください。



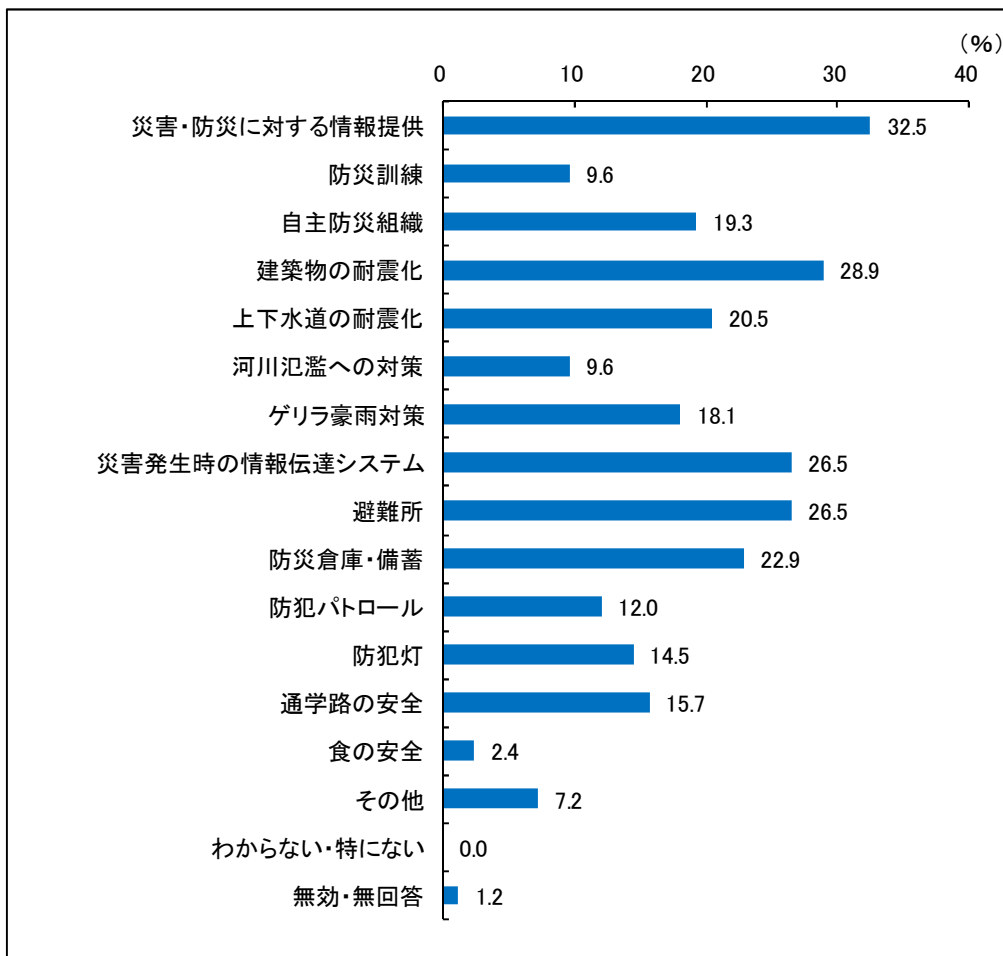
問 1 1 安城市の人口は増加傾向にあるものの、少子高齢化の進行により 2030 年をピークに減少に転じると予想されています。人口減少によってまちの活力低下が懸念されることから、このピークをいかに遅らせられるかが重要となります。安城市の人口規模をできるだけ維持していくために、優先して行うべきことは何だと思いますか。以下の選択肢から 3 つまで選んでください。



問 1 2 2027 年にリニア中央新幹線が開通し、品川から名古屋まで 40 分で結ばれ、東海道新幹線を利用すれば、安城市は東京まで 1 時間で行くことができます。リニア中央新幹線の開通により、あなたや安城市にはプラスの効果とマイナスの効果のどちらが多いと考えますか。また、回答を選択した理由を記入して下さい。



問 1 3 防災、防犯対策の推進に向けて、安城市が強化すべきことは何だと思えますか。以下の選択肢から 3 つまで選んで番号を記入し、その右側に、選択した理由（現在課題と考えていること等）を具体的に記入してください。



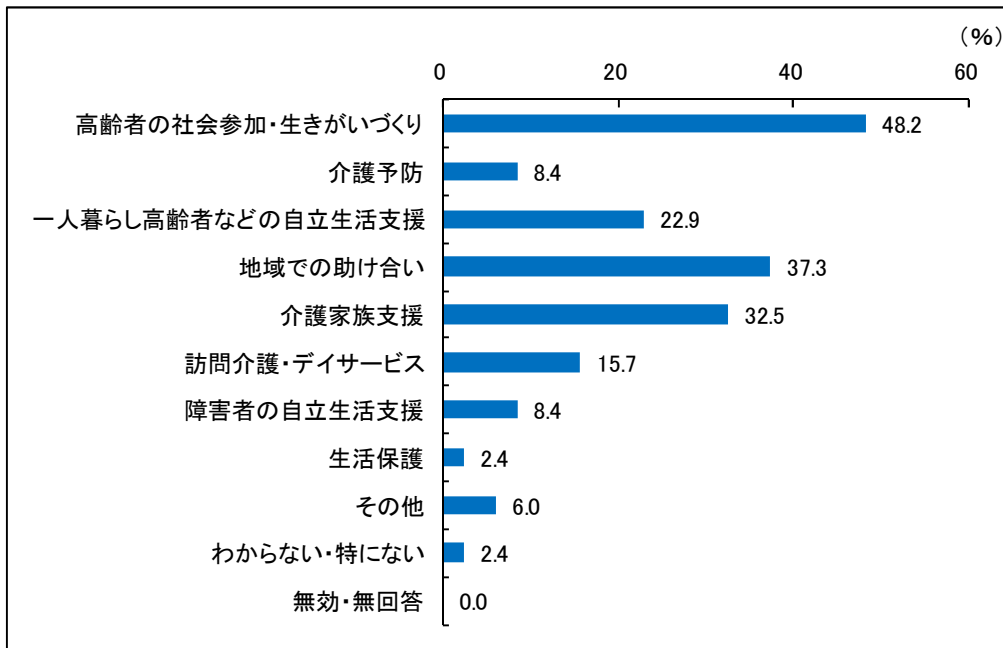
選択肢	選択した理由
災害・防災に対する情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 減災に向かう意識改革、情報提供や教育が必要だと考えます。 ・ 自らが住んでいる地域の特性を知っていることが重要。地域防災マップ、地域ハザードマップなどの作成を推進してゆくべきと考えます ・ 巨大地震の被害の大きさを正確に理解してもらい各家庭で備えてもらう必要がある ・ 防災無線の配備状況、防災倉庫の位置、備蓄状況等の情報が一般家庭まで十分伝わっていない。 ・ 自助とは言っても情報収集まで自己責任にしたのでは公共が無責任になる。事前の情報提供は必要。 ・ 情報提供が遅れると、その分被害が拡大する恐れもある ・ 防災ラジオ、無線での情報が重要だから ・ 地域の力を使う。サポートできる体制を作る。 ・ 災害、防災があったら何を自分ができるかを教育する。安全な場所へ移動し自分が生き残ることを教える。

防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居住年数が短い市民が増え、地域で支える防災への意識が希薄になってきている。 ・ 海のない本市は、雨（集中豪雨）・地震・台風であり、雨・台風は事前に備えが出来るが地震は突発的で予知が不可能である。1～10 まで全て重要と考えるが、個人責任でなく全体責任としての『備え＝マニュアル』をもって町内隅々まで浸透させる防災訓練指導が急務である。本市に作成されている『マニュアル』をもっと市民が実践できるよう、地元への周知徹底を図る体制強化。
自主防災組織	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織の整備と各地区の自主防災組織の一元化 ・ 町内会に加入していない世帯への協力や働きかけをする ・ 行政（危機管理課）に相談に出かけた場合は良く対応してくれる。しかし行政から自主防に出かけてくれる機会は少ないと思うので、互に現状を話す機会をもつ事で大きな災害時の減災に役立てる必要を感じる ・ 基本的には、隣人や町内等への連帯意識を取り戻したい。“向こう三軒両隣”は良い効果を現していた。
建築物の耐震化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経年劣化による家屋について現在の補助金対象のハードルを下げ耐震化の拡大を図るとよい。 ・ 安城市は津波対策より、地震による建物倒壊・家具転倒防止に力を注ぐべき。あと橋梁トンネルの劣化点検など ・ 建築物の耐震化はお金がかかるので個人で実施するのはむずかしい。100 万～200 万かかるとなると足踏みしてしまう
上下水道の耐震化	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフラインの機能のうち飲料水が大切、食料は農家集落でありなんとかなる ・ 南海トラフの岩盤破壊による地殻変動。その物理的力は相当なものであり、今の設備がどこまで耐えられるか不安だ ・ もしもの時の飲料、トイレは生活の最優先。 ・ 現在古い上下水道、特に水道管の耐震化を急ぐこと。水があれば救助するまで生きられる。各家庭で備蓄も必要
河川氾濫への対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東海豪雨では鹿乗川流域で 131 戸、H20.8 月豪雨では 22 戸の床上浸水があり、河川拡幅工事を早くすべき（県に要望）。 ・ 近年ゲリラ豪雨が多発し河川氾濫が全国で発生している。安城市でも水田貯留などの対策を強化してほしい。 ・ 当地は矢作川、鹿乗川が該当し、避難場所の桜林小学校の敷地も浸水の恐れあり。 ・ 地形が平坦ゆえに河川氾濫によってどこに避難するのか不明瞭である。
ゲリラ豪雨対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 城南町と市役所附近とで約 2m 強の高低差がありゲリラ豪雨には頭を痛めている ・ 短時間に浸水する地域がまだある ・ 安城市は平野の 100% と思っている様だが、岡崎市の隣接地は水に弱い。全体から考えると市としての対応は 0 に等しい。 ・ 田んぼに水を入れる為に側溝に土砂袋を入れて水を止めている所が有る やめてほしい。

災害発生時の 情報伝達シス テム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正確な情報を早く広く伝達できるかが減災にとって重要と思う ・ 町内連絡スピーカーの設置・充実をお願いしたい ・ ケイタイを持たない人への伝達システムが欠如している。危機管理の意識が低い。隣組の協力と防災意識の抑揚が必要 ・ 情報の取得が TV やラジオ、そしてスマホなどのメールで情報の錯綜を防ぐ対策が必要とされる
避難所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所を増やすこと。現在の避難所では避難が全員できない。企業などに協力してもらうなども必要だ。 ・ 自宅避難者への情報伝達の方法が不明。避難所の収容人数が不足。企業・帰宅困難客への対応が不明確 ・ 丈山小が指定されているが、高台である保育園等で考えてもらいたい ・ 美園保育園の避難所は豪雨時、浸水が予想されるため美園公園周辺に新たな避難所の増設が望まれる。
防災倉庫・備 蓄	<ul style="list-style-type: none"> ・ 備蓄が余りにも少ない ・ 公園等に防災倉庫を設置したら ・ 町内会での備蓄にはスペース、効率面で問題があり、市レベルでの備蓄を促進するとともに家庭にも PR してほしい
防犯パトロー ル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪がまだ多く発生しており、駐在所が無くなったこともありパトロールの充実が望まれる ・ 完全にボランティアで運営されているが、ガソリンや同乗者を気づかってジュースを用意している協力者もいます。そうした人にも感謝するしくみが必要。又、被害に会った人も参加すべき。
防犯灯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市街化には比較的多いが、人通りの少ない場所にも設置を推進し、より安心できるようにしたい。 ・ 農地が多いため通学するところも暗いところが多い。町内要望と共に学生の意見も聞く場があると良い ・ 現在、町内の犯罪発生率や世帯数などによって防犯灯の数が決められているのはおかしい。市街地に比べ田舎は暗い。
通学路の安全	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県道の車（通勤者）が飽和状態で抜け道として通る道路をかなりのスピードで通過するため、いつ人身事故がおきてもおかしくない状態である。 ・ 交通量が増える中、安全な通学路の確保（含む：信号、地下道路、照明、広さなど） ・ 県道の側道でガードパイプが細く心配である ・ 市の事業として、通学路に防犯カメラの設置促進が必要
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご近所さんと仲良くなる。世代関係なく顔見知りになる ・ 警察官の増員でパトロールを多くする。 ・ 消防団だけでは、万一の災害発生時には人的に不足するため、OB を活用した機能別消防団の活用を早急に行なうべき。 ・ ポイントのところに監視カメラの増設をする。犯罪の抑止力になりうる。

問 1 4 福祉の充実に向けて、安城市が強化すべきことは何だと思えますか。

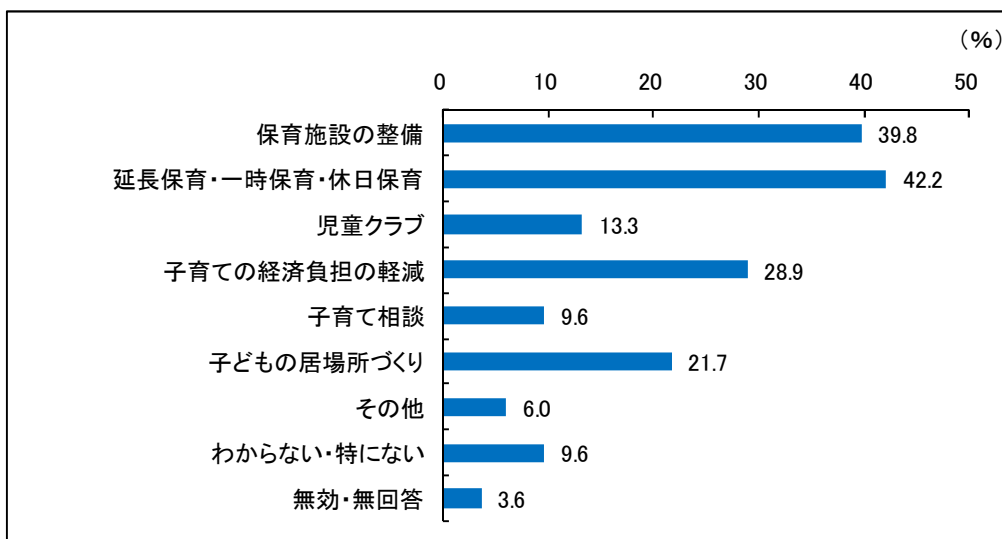
以下の選択肢から 2 つまで選んで番号を記入し、その右側に、選択した理由（現在課題と考えていること等）を具体的に記入してください。



選択肢	選択した理由
高齢者の社会参加・生きがいづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長年、培ってきたスキルやノウハウを次世代に伝える場や機会を増やすことが大切だと思います。 ・ 高齢者が働ける場の拡充。高齢者のスキルを生かせる環境の拡充。 ・ 集まって話し会える場所の提供 ・ 家の中にとじこもらずに、外にでていける環境づくりをお願いしたい。こんな楽しい愉快なことがあるから、いらっしゃいよといいふうに。 ・ 地域力になるようすべき ・ 男性は定年後の過ごし方が判らず、自宅に引き込む場合が多い。シニアライフについて、地域で行政と高令者の社会参加について話し合いの場をもつ
介護予防	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、高令者が増え、介護される方々が増えます。なってからでは遅い。介護予防をもっと PR して下さい。 ・ 選択肢がやや自助に片寄っていませんか。予防や自立も大切です。それが一番ですが、できないものはできません。以前は「自助、共助、公助」だったのに、最近は「自助、共助」で終わることが多いように思います。土台は公助であるはずです。
一人暮らし高齢者などの自立生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 孤独死につながらぬ様、職業として訪問し、状況を聞きアドバイスをする要員の充実（地域の助け合いでは限界） ・ 先ずは自助努力を促進するための支援を公的機関が行う ・ 町内会単位で一人暮らしの高齢者の昼食会を実施し、おたがい情報交換し、お茶など飲んで助けあう意見交換する。（できれば市の補助金の支給も）

地域での助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣者による情報が何よりも大切。常日頃から声をかけあい、見守りにつなげていきたい。 ・ 町内の役員がみつからない。役員を受けてもらえない。 ・ 町内福祉委員が毎年変っているようではダメで若い人の参加が必要 ・ 地域で自分のできることを登録し、お互いに助け合う ・ 各町内会単位で健康で長生きができることを考える会をつくり、語りあい、体操などをし、あとを語り合う。 ・ 町内で世帯主が仕事に出ると高齢者が一人で留守番となり心配である（現在検討中）
介護家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在介護している家族への支援は充分ではないと思う。特に介護と仕事との両立は大変。 ・ 現に介護されている方々に対する相談、レスパイト等、かかえこんでいて地域にも話しづらいなどある。NPO やボランティアの育成できる環境が必要 ・ 介護する家族もたいへんである。デイサービスなどで解放され、ストレスの発散方法を考えて。
訪問介護・デイサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な対価により家族の負担を軽減できる ・ 保険制度とのからみもあるが基本的には在宅である。その支援は絶対に必要であろう。 ・ 家族では難しい状況であれば、ヘルパー、デイサービスを活用するしかない。
障害者の自立生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ まだまだ、表に出にくい障害者が明るく元気に暮せる社会作り ・ 精神の方の支援は充実してきていると思うが、身体の方への支援の場を発達支援センターの中に加えてゆくべきではないでしょうか ・ 一部の法人等に頼るところが多く、市がもっとイニシアチブをとって進めていく施策の必要性が高い。
生活保護	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活保護。これは税金のむだ！受給者に対する調査を徹底的。市の人材を使って支給すべき。 ・ 最弱者をしっかりと支えて欲しい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族が同居できる家庭に

問 1 5 子育て支援の充実に向けて、安城市が強化すべきことは何だと思いませんか。
以下の選択肢から 2 つまで選んで番号を記入し、その右側に、選択した理由（現在課題と考えていること等）を具体的に記入してください。

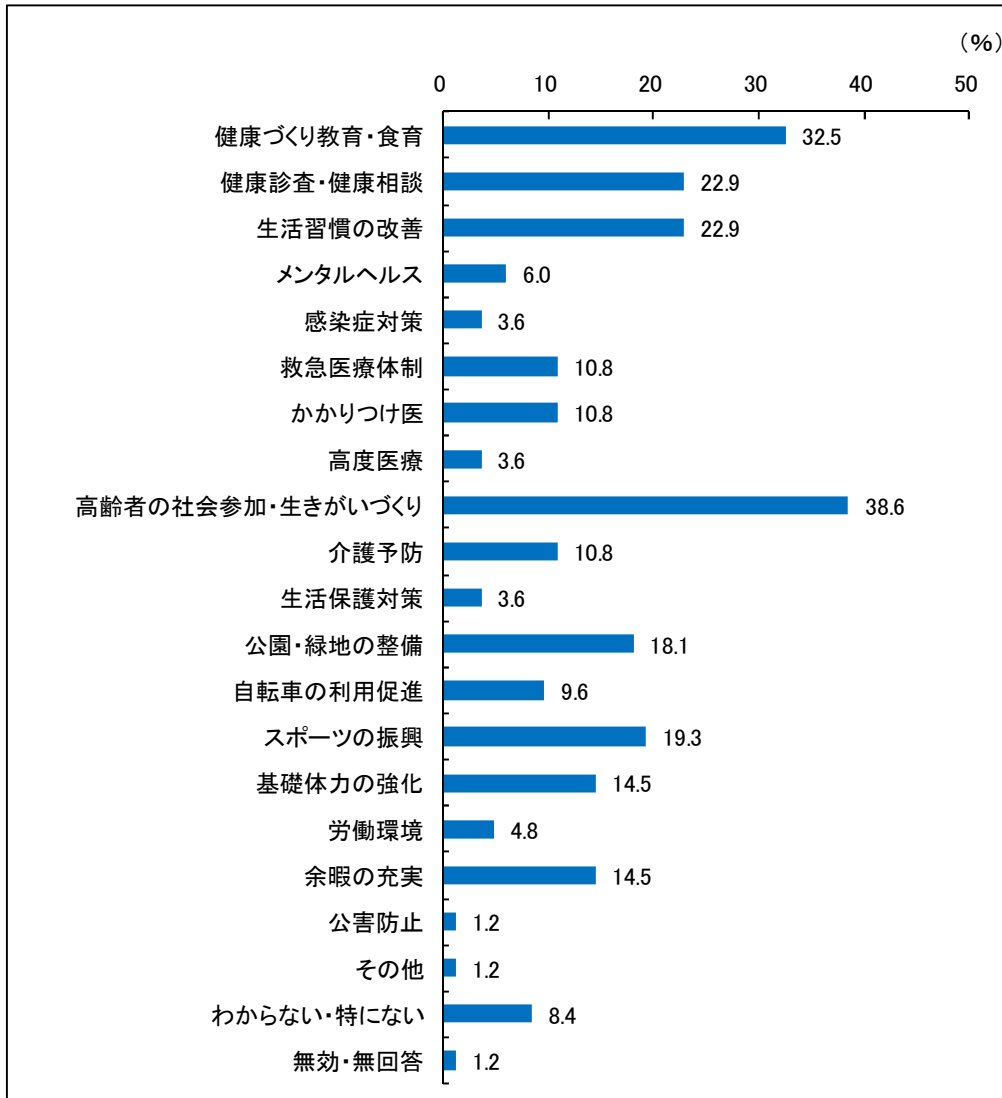


選択肢	選択した理由
保育施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> 絶対数の確保が重要 保育園の駐車場狭く大変危険である 一つの施設が大きくなりすぎている。より個にせまった保育ができるような分教化と職員配当の充実を図る。 住居に近い保育施設が利用できるようにすること 市立保育園の入園条件の緩和
延長保育・一時保育・休日保育	<ul style="list-style-type: none"> 親が安心して預けられる施設があつてこそ、第2子、第3子を生む決心ができる 労働人口の確保には、働きやすい環境の整備が必要 フルタイム勤務が出来る。トヨタカレンダーに合わせ、祭日保育を含め、見直し 働く女性のスタイルに合わせた保育システムがバリエーションに有る方が良い
児童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> 現在4年生までとなっている児童クラブを早急に6年生まで拡大を求める。安城市としてやる気になれば早急に対応出来るものとする。 市内の小学校単位に画一的に配置するだけでなく、中身の充実を図る。1.地元特性による時間延長・休日営業など積極的に参加しやすい状況作り。2.市による選任講師（各種の経験者）の登録と活用…人生経験の豊富な方々を講話・体験談・物づくり・ゲーム指導・延長授業…etc 多種多様なニーズに対応した人材の確保と派遣→アピール！
子育ての経済負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> 子育て中は、何かと収入が不足します。市としては何らかの補助をしてあげて下さい。 子育てにかかる経済負担がかかりすぎが原因で少子化になっていると思いま

	<p>す。三人目の子どもにかかる公的費用を限りなく無料にする。等、思いきった制度を創る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 容易に出産できる病院等の施設を充実するとともに、小中高及び大学卒業までの経済の負担を支援する ・ 保育園料は収入に応じてであるが、できるだけ安くする ・ 子供を生むことが公私ともに良いという条件の充実
子育て相談	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在も子育て相談は保健センターで実施しているが、実は親が子供をどう育てるか、親の教育をすることも考えること。(親が勝手に子供を教育している。) ・ 核家族化がすすみ、どこへ相談してよいのかわからない人もいると思う。 ・ 育てかたのわからない若い親が多い
子どもの居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共働き家族の子供の子供どおしの仲間づくりでは、児童クラブは一定の効果はあるが、子供達の自立的な、親の、大人の管理しない場での居場所づくりが必要でないか。 ・ 子供のうちは元気に遊びまわることが健全な心身を育てる一番の要因である ・ 自然とふれあうことができる遊び場 ・ 子供同志で遊べる年齢差 10 才くらいの上下が同じことが出来る (スポーツ以外で) 共に参加するものが良い ・ 地域で拠点を設け、地域ボランティアを募り、子どもが気楽に過せる場所を提供して欲しい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てしながら、仕事をしている人は自分が仕事をしたいからと理由が大きいと思います。どちらかというとも子どもの中心ではなく自分中心。なので仕事をしていない専業主婦の方々を支援 (お金の面もあずける事や相談も全て) した方がもっと子どもが増えるのではないかと思います。 ・ 子どもの将来を考えると、子供会行事の参加、町内会行事の参加→そろばん・ピアノ・水泳・学習塾→色んな選択肢がある中で『将来に思いをよせた親本意』の考え方が最優先に成りがち、小・中・高一環教育の実現等将来的改革が必要である。
選択肢不明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今若者が結婚しない。なぜなのかわからない。安城市が取り組む課題は、若者に結婚をさせる方策が第一だと思う。

問 1 6 健康に力を入れたまちづくりに向けて、安城市が強化すべきことは何だと思えますか。

以下の選択肢から3つまで選んで番号を記入し、その右側に、選択した理由（現在課題と考えていること等）を具体的に記入してください。



選択肢	選択した理由
健康づくり教育・食育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体力年齢や、健康年齢を各自が把握し、生活する習慣をつくる学習会を開催する ・ 健康寿命の伸長のため、若い年齢から健康への意識を高めることが大切だと思います。 ・ 人間は健康であることが基本です。健康づくりの方策をもっと市民に PR して下さい。 ・ 全ては教育が原点。特に食生活が偏りがちな現在、親子ともに食育が重要性を増している ・ 健康づくり教育・食育ができる保健師や栄養士等の活動環境の充実を図る。
健康診査・健	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20 代、30 代の健診の充実。小さい子供を残して亡くなっていく人が少なくな

康相談	<p>るとよいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人間ドックを申し込んでも半年先位まで受診できない。 ・ おかしいと思ったらすぐに相談できる体制を作り ・ 健康づくりは誰がやっても難しい。町内会が中心となり希望者を集め運動、体操を中心に実施し語り合い、又病院とのタイアップし、健康診査なども早めに受けさせ食事についても大切さを教える。
生活習慣の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健センターが主導して改善できる講座、啓もう活動をしてほしい ・ 健康は基本的に短期では得られない。食生活、仕事面、運動面において年代別に改善すべき機会をアピールしたい。
メンタルヘルス	<ul style="list-style-type: none"> ・ メンタルヘルス相談が気軽にできる医療機関や公的機関の充実を図る。 ・ ストレスの多い社会です。うつをはじめ、精神を痛む人が最近多いです。痛む人を少なくするよう工夫して下さい
感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今までにないようなウィルス侵入への早期対応体制 ・ 世界中で感染症がうわさされる中、安城市でも心配される中対策が必要となる
救急医療体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ クリニックは多いが、救急対応できる医師が少ない。 ・ 救急車を呼ばなくても受診できるような体制づくりをしてもらいたい
かかりつけ医	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健常者は病院要らずであるが、老人・子どもは必要不可欠である。家族の『かかりつけ医』が必要である。※本市に隣接する病院の『かかりつけ医』として認定できる制度を希望する。(他市では人間ドッグの補助対象外であり、主治医であっても対象外) ・ かかりつけのお医者さまは絶対必要と思います。加えて往診をして下さるお医者さまがもっともっと増えることを願います。 ・ 個人病院の地域差がある。高令化社会において広域連携、医師会との連携など必要
高度医療	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安城市内で一箇所ほしい ・ 医療技術と併せ、高度医療機器を備えた医療機関を備えておく。
高齢者の社会参加・生きがいつくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生きがいつくりがすべての元気のもと。何が目標のある生活へ指導・誘導する活動を。 ・ もっともっと高齢者の方々が活躍できる場の提供を行政が取り組むべきと考えている。
介護予防	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護教室等の PR を充実させる。 ・ 高齢化に伴い、医療費の増大がますます財政を圧迫させるため、健康寿命の施策を進めること。
公園・緑地の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空気のきれいな源は緑地であり、都市部では緑地の増大が望まれる。明治川緑道のようなものの増大を！ ・ 公園・緑地が非常におそまつ ・ 市街化調整区域内の公園不足。もっともっと公園の整備が必要 ・ 町中に緑を増やしてほしい ・ 子供達が外で遊べる場所がない（公園が狭いためボール遊びが出きない） ・ 公園・緑地の設備という大きな投資になりますが、各町内の補助金により、

	各町内会の独自性により、申請の都度、交付してはどうか。
自転車の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安城に住んでいる方々は移動手段としてまず①車②車③車④自転車⑤電車というかんじです。車使いすぎです。でも確かに歩道もガタガタで段差も多く自転車乗りにくいです。 ・ 電動等自転車の補助制度の強化。自転車で走り回る事は足腰によい。 ・ ウォーキング、ランニング、自転車利用などは、生活習慣病の予防に効果がある。
スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ごとに集まってみんなで運動する機会を作る場所、リーダー、支援員の確保 ・ 運動広場の充実（雨天でも出来るドームの建設） ・ 地域や町内会などでスポーツ大会があるといいなと思います。 ・ 働く人のために夜間に利用できる施設を充実させる ・ 年寄りのスポーツの進め方、今少しずつ人気が出てきたパレットゴルフのできる場所を作る。 ・ 安城市の人口の割に大きなスポーツイベントが開催できる体育館や競技場の整備を進めるべき。
基礎体力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園児から中学校3年生まで一日に一回は体力づくりのカリキュラムを入れる。 ・ 今の子どもは昔に比べ軟弱と思う。フウアフウアドームで何人か骨折したり、ねんざする園児・児童がいると聞く。小さい頃より体をきたえるべき。 ・ 歩くことにより基礎体力をつけることができる。歩け歩け運動を興こし、その機会も増えればと思う。
労働環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加齢の様な抗うことのできないものではなく、理不尽に健康や生命が奪われる事は許されない
余暇の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ アグリーライフをもっと全市に展開し、もっと入会者が簡単に出来る様に。(遊休農地対策) ・ 良い趣味や、人間（人生）の楽しさ、生きがいにつながる場所の提供 ・ 体を暇を見ては、短時間でも体を動かすか、体操をする。又余暇を上手に時間を作りストレス発散に勤める ・ いろんな講座を充実させたり、サークル指導派遣員を育成する
公害防止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有害な工場、企業の廃除をする
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ この事は自分自身の心得であり、(ヤルキ・勇気) 自分から進んで取り組む姿勢が必要…情報を具体的にきめ細かく伝達する事が大切

問17 その他、安城市のまちづくりに対するご意見・ご提案がありましたら、ご自由に記入してください。